



九州大学一般公開特別講演会を開催 「グローバル化時代の感染症問題ーその現状と課題ー」

概要

九州大学大学院地球社会統合科学府は、平成 28 年 10 月 15 日（土）に九州大学西新プラザ大会議室で、感染症問題についてアジアを中心に活躍されている押谷仁・東北大学教授を講師にお招きし、一般公開特別講演会を開催します。

内容

日 時：平成 28 年 10 月 15 日（土）14 時 30 分～16 時 30 分（14 時 15 分開場）
会 場：九州大学 西新プラザ 大会議室 AB
〒814-0002 福岡市早良区西新 2 - 16 - 23
講演タイトル：「グローバル化時代の感染症問題ーその現状と課題ー」
講 師：押谷 仁 氏（東北大学大学院医学系研究科・教授）
主 催：九州大学大学院 地球社会統合科学府

申し込み方法：専用フォームよりお申し込みください。
(<https://isgs.kyushu-u.ac.jp/ISGSevent/entry.html>)

※入場無料、要事前申込（10 月 12 日（水）締切）
※申込は先着順で定員（200 名）になり次第締め切らせていただきます。



講師プロフィール

1959 年東京都生まれ。医学博士（東北大学）。
1987 年東北大学医学部卒業後、国立仙台病院に勤務。1991 年から 95 年まで国際協力事業団（JICA）の感染症対策プロジェクトの専門家としてザンビアで活動をおこなう。東北大学加齢医学研究所付属病院、新潟大学医学部勤務を経て、1999 年から 2005 年まで世界保健機構（WHO）西太平洋地域事務局（WPRO）の感染症地域アドバイザーとして、2002 年から 2003 年に流行した SARS（重症急性呼吸器症候群）対策を担う。2005 年から東北大学大学院医学系研究科教授（現職）。2016 年 7 月に黄熱病対策のためにコンゴ共和国に派遣された感染症対策チームのメンバー。

- ◇ 著書『パンデミックとたたかう』（岩波新書、瀬名英明との共著）、『新型インフルエンザはなぜ恐ろしいのか』（NHK 出版生活人新書、虫明英樹との共著）

九州大学大学院地球社会統合科学府
特別講演会

グローバル化時代の感染症問題

－その現状と課題－

2016年10月15日(土) **入場無料**

プログラム

- 14:15 開場
- 14:30 開会の挨拶
- 14:40 講演 押谷 仁 教授 (東北大学大学院医学系研究科)
- 15:40 質疑応答
- 16:30 閉会

講演者略歴



1959年東京都生まれ。医学博士 (東北大学)

1991年から95年まで、JICAの感染症対策プロジェクトの専門家としてザンビアで活動をおこなう。

1999年から2005年まで、WHO (世界保健機構) 西太平洋地域事務局の感染症地域アドバイザー。この間、2002年から2003年に流行したSARS対策を担う。

2005年から東北大学大学院医学系研究科教授 (現職)

2016年7月、黄熱病対策のためにコンゴ共和国に派遣された感染症対策チームのメンバー

会場：九州大学西新プラザ 大会議室
地下鉄空港線「西新駅」7番出口より徒歩10分

申し込み方法：

地球社会 で検索し、専用フォームから申込み

携帯・スマートフォンの方は [こちら](#) ➡



定員200名
(先着順、定員に達し次第締め切り)

GRADUATE SCHOOL OF
INTEGRATED
SCIENCES FOR
GLOBAL
SOCIETY
KYUSHU UNIVERSITY



お問い合わせ

【主催】九州大学大学院地球社会統合科学府

〒819-0395 福岡市西区元岡744 (伊都キャンパス)

E-mail: isgs-event@scs.kyushu-u.ac.jp

